

事業名	担当
「中野ふるさと学校」	高砂市民センター
1 事業の目標（ねらい）	
<p>①中野・蒲生地区の旧住民と共に、震災によって失われた歴史や文化の継承と旧住民の地域の絆を大切にしながら、心の復興を目指す。</p> <p>②地域の歴史の継承や新たな地域の魅力の発信と共に、人々の再開と出会いの場づくりとなる事業を開催し、心の復興と地域の活性化を目指す。</p>	
2 事業内容（手法）	
<p>(1) 対象者 地域住民</p> <p>(2) 登録者数 15名程度</p> <p>(3) 活動内容 毎月1回定例会を開催している。</p> <p>市民センター講座「中野ふるさと学校」と市民団体「中野ふるさとYAMA学校」の共催事業として進めている。</p> <p>【事業（講座）の主な内容】</p> <p>①事業開催に向けた企画会議（月1回程度）</p> <p>②ふるさと交流事業「ダーツ交流会」</p> <p>③「公開授業」の開催</p> <p>④語り部活動</p> <p>⑤日和山周辺 海辺の環境保全活動</p> <p>⑥仙台蒲生日和山 山開き登山プロジェクト</p> <p>(4) 広報 ・活動紹介チラシの制作と配布</p> <p>・令和3年度仙台市市民センター成果報告会での成果発表（ポスター展示）</p> <p>・高砂市民センターHPへの掲載</p>	
3 新型コロナウイルスによる影響	
<p>日和山山開き登山は、例年7月の第1日曜日に開催している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2、3年度は参加者を役員や関係者のみに限定して登山を実施した。</p>	
4 令和3年度の取組み(実績・予定)	
<p>7月 仙台蒲生日和山 山開き登山</p> <p>9月 ダーツ交流会【延期】</p> <p>10月 日和山周辺 海辺の環境保全活動① 石巻津波伝承館への移動学習会</p> <p>11月 ダーツ交流会</p> <p>1月 公開授業「蒲生干潟 震災後の10年」</p> <p>2月 日和山周辺 海辺の環境保全活動②</p>	

5 これまでの経緯（成果）

本事業は、平成26年に高砂市民センターと宮城野区中央市民センターの共催事業（住民参画・問題解決型学習推進事業）として開始した。当初は被災した地域住民の心の復興を中心テーマに据え、地域住民の交流による地域の活性化を目指した取り組みを進めてきた。日登山登山やダーツ交流会などは、継続して実施されており、地域住民に広く認知されるようになった。

市民企画員が学びを通して活動していく中で、様々な分野への興味が広がり、企画員の意欲が高まっている。近年、干潟の環境保全に企画員の関心が集まっており、令和3年度は日登山周辺の清掃活動の実施につながった。

6 課題・改善点（評価）

これまでは、震災を乗り越えるために、地域住民の心の復興を目指して事業を展開してきた。震災から10年を経て、講座のテーマを「震災からの復興」から「未来につなげる地域交流」に移行しながら、創意工夫を凝らした事業運営を進めていく必要があると思われる。

7 今後の展開・方向性

8年目（令和4年度）

- ・ 蒲生干潟・日登山周辺の環境保全活動を企画し、活動への参加者を公募することで交流を深める。

「中野ふるさと学校」

高砂市民センター

1 事業概要

震災で失われた「中野・蒲生地区」の良さや特色を未来に残し、広げ、思いを伝え合うさまざまな取組を行っています。これまで、仙台港築港前（昭和33年）と震災前（平成18年）の地形模型図、「蒲生・日和山（震災前）」のジオラマ、日和山周辺の思い出を集めたリーフレットなどを制作してきました。また、日和山登山、学校との連携、交流事業の運営等、地域の諸団体との連携も大切にしながら活動しています。



日本一低い「日和山」頂上で

2 今年度の活動

○蒲生干潟・日和山周辺の環境保全活動 10月17日（日）

新たな取り組みとして、蒲生干潟・日和山周辺の環境保全を目的とした清掃活動を始めています。来年度からの本格始動に向けての準備も兼ねた活動ですが、清掃の範囲や収集の方法、参加者の募集方法について試行錯誤しながら活動を続けています。清掃活動を通じて蒲生・中野地区の豊かな自然と、かつての暮らしの様子、そして防災・減災について伝えていくことを考えています。次回は2月27日（日）、慰霊祭の前に活動する予定です。



ダーツ交流会

○ふるさと交流事業「ダーツ交流会」 11月18日（木）

地域の絆を大切にしながら、心の復興を目指すことを目的として、恒例となっているダーツ交流会を開催しました。会場の体育館には、46名が集まり、久々の再開と新しい出会いにたくさんの笑顔が見られました。参加者の方々は、話に花を咲かせつつも、真剣勝負で汗を流していました。人々の憩いの場の一つとなっています。

3 成果と課題

この活動のほとんどは、自主サークル「中野ふるさと YAMA 学校」の皆さんと共に行ってきました。毎月の定例会では、各メンバーが積極的に意見を交わし、事業の企画を行っています。今後も継続して活動を展開していけるように、企画員の学びとスキルアップ、事業の広報も大切にしながら意欲的に進めていきます。



移動学習会（みやぎ東日本大震災津波伝承館）

4 今後の展望



地域の歴史を語り継いでいくことに加え、地域の象徴である日和山の環境保全にも取り組んでいきます。地域の子どもたちやボランティアで参加してくださる方に清掃活動を通じて蒲生・中野地区の魅力を発信するとともに、減災・防災について伝えていくことを考えています。また、清掃活動をする他団体と連携し、活動の輪を広げ、故郷を自分たちの手で守る活動を進めていきます。